

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年1月12日(2006.1.12)

【公表番号】特表2005-511632(P2005-511632A)

【公表日】平成17年4月28日(2005.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-017

【出願番号】特願2003-545300(P2003-545300)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/05 (2006.01)

A 6 1 K 31/352 (2006.01)

A 6 1 K 31/473 (2006.01)

A 6 1 K 31/5377 (2006.01)

A 6 1 K 31/5383 (2006.01)

A 6 1 K 31/557 (2006.01)

A 6 1 P 1/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/04 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 D 209/16 (2006.01)

C 0 7 D 311/80 (2006.01)

C 0 7 D 498/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/05

A 6 1 K 31/352

A 6 1 K 31/473

A 6 1 K 31/5377

A 6 1 K 31/5383

A 6 1 K 31/557

A 6 1 P 1/00

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 11/04

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 D 209/16

C 0 7 D 311/80

C 0 7 D 498/06

C 0 7 M 7:00

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月14日(2005.11.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一過性下部食道括約筋弛緩（TLESR）の抑制のための医薬の製造のための、カンナビノイド受容体アゴニスト、または製薬上許容しうるその塩または光学異性体の使用。

【請求項 2】

胃食道逆流疾患（GERD）の治療のための医薬の製造のための、カンナビノイド受容体アゴニスト、または製薬上許容しうるその塩または光学異性体の使用。

【請求項 3】

逆流の予防のための医薬の製造のための、カンナビノイド受容体アゴニスト、または製薬上許容しうるその塩または光学異性体の使用。

【請求項 4】

反流の治療または予防のための医薬の製造のための、カンナビノイド受容体アゴニスト、または製薬上許容しうるその塩または光学異性体の使用。

【請求項 5】

治療または予防すべき反流が乳児における反流である請求項 4 記載の使用。

【請求項 6】

肺疾患の治療または予防のための医薬の製造のための、カンナビノイド受容体アゴニスト、または製薬上許容しうるその塩または光学異性体の使用。

【請求項 7】

肺疾患が反流胃内容物の吸入によるものである請求項 6 記載の使用。

【請求項 8】

生育の障害を管理するための医薬の製造のための、カンナビノイド受容体アゴニスト、または製薬上許容しうるその塩または光学異性体の使用。

【請求項 9】

生育の障害が摂取した栄養の過剰な損失によるものである請求項 8 記載の使用。

【請求項 10】

喘息の治療または予防のための医薬の製造のための、カンナビノイド受容体アゴニスト、または製薬上許容しうるその塩または光学異性体の使用。

【請求項 11】

喘息が逆流関連喘息である請求項 10 記載の使用。

【請求項 12】

慢性喉頭炎の治療または予防のための医薬の製造のための、カンナビノイド受容体アゴニスト、または製薬上許容しうるその塩または光学異性体の使用。

【請求項 13】

カンナビノイド受容体アゴニストが CB1 受容体選択的カンナビノイド受容体アゴニストである請求項 1 ~ 12 の何れか一項に記載の使用。

【請求項 14】

カンナビノイド受容体アゴニストが CB2 受容体選択的カンナビノイド受容体アゴニストである請求項 1 ~ 12 の何れか一項に記載の使用。

【請求項 15】

カンナビノイド受容体アゴニストがエイコサノイドである請求項 1 ~ 14 の何れか一項に記載の使用。

【請求項 16】

カンナビノイド受容体アゴニストが伝統的なカンナビノイドである請求項 1 ~ 14 の何れか一項に記載の使用。

【請求項 17】

カンナビノイド受容体アゴニストが非伝統的なカンナビノイドである請求項 1 ~ 14 の何れか一項に記載の使用。

【請求項 18】

カンナビノイド受容体アゴニストがアミノアルキルインドールカンナビノイドである請求項 1 ~ 14 の何れか一項に記載の使用。

【請求項 19】

カンナビノイド受容体アゴニストが、アナンダミド；アラキドニル - 2' - クロロエチルアミド (ACEA)；およびアラキドニルシクロプロピルアミド (ACPA) から選択される請求項 15 記載の使用。

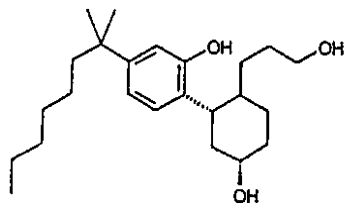
【請求項 20】

カンナビノイド受容体アゴニストが ⁹ - テトラヒドロカンナビノール (⁹ - THC)；または 11 - ヒドロキシ - ⁸ - THC - ジメチルヘプチル (HU - 210) である請求項 16 記載の使用。

【請求項 21】

カンナビノイド受容体アゴニストが CP 55,940：

【化 1】

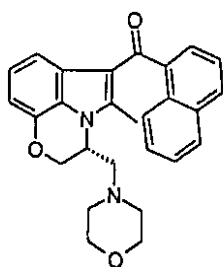


または L - ナントラドール (CP 50,556)：(-) - (6S,6aR,9R,10aR) - 5,6,6a,7,8,9,10a - オクタヒドロ - 6 - メチル - 3 - [(R) - 1 - メチル - 4 - フェニルピトキシ] - 1,9 - フェナントリジンジオール 1 - アセテートである請求項 17 記載の使用。

【請求項 22】

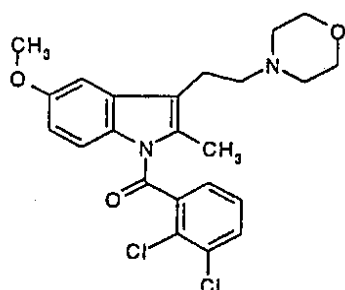
カンナビノイド受容体アゴニストが WIN 55,212 - 2：

【化 2】



または L - 768,242：

【化 3】



である請求項 18 記載の使用。

【請求項 23】

カンナビノイド受容体アゴニストの 1 日当たり用量が 0.1 ~ 500 mg の範囲内にある請求項 1 ~ 22 の何れか一項に記載の使用。

【請求項 24】

カンナビノイド受容体アゴニスト、またはその製薬上許容しうる塩または光学異性体の製薬上および薬理的に有効な量を一過性下部食道括約筋弛緩 (TLESR) の抑制が必要な対象に投与することによる、該疾患の抑制方法。

【請求項 25】

胃食道逆流疾患（GERD）の治療のための、カンナビノイド受容体アゴニスト、またはその製薬上許容しうる塩または光学異性体の製薬上および薬理学的に有効な量を含む医薬。

【請求項 26】

逆流の予防のための、カンナビノイド受容体アゴニスト、またはその製薬上許容しうる塩または光学異性体の製薬上および薬理学的に有効な量を含む医薬。

【請求項 27】

反流の治療または予防のための、カンナビノイド受容体アゴニスト、またはその製薬上許容しうる塩または光学異性体の製薬上および薬理学的に有効な量を含む医薬。

【請求項 28】

治療または予防すべき反流が乳児における反流である請求項 27 記載の医薬。

【請求項 29】

肺疾患の治療または予防のための、カンナビノイド受容体アゴニスト、またはその製薬上許容しうる塩または光学異性体の製薬上および薬理学的に有効な量を含む医薬。

【請求項 30】

肺疾患が反流胃内容物の吸入によるものである請求項 29 記載の医薬。

【請求項 31】

生育の障害の管理のための、カンナビノイド受容体アゴニスト、またはその製薬上許容しうる塩または光学異性体の製薬上および薬理学的に有効な量を含む医薬。

【請求項 32】

生育の障害が摂取した栄養の過剰な損失によるものである請求項 31 記載の医薬。

【請求項 33】

喘息の治療または予防のための、カンナビノイド受容体アゴニスト、またはその製薬上許容しうる塩または光学異性体の製薬上および薬理学的に有効な量を含む医薬。

【請求項 34】

喘息が逆流関連喘息である請求項 33 記載の医薬。

【請求項 35】

慢性喉頭炎の治療または予防のための、カンナビノイド受容体アゴニスト、またはその製薬上許容しうる塩または光学異性体の製薬上および薬理学的に有効な量を含む医薬。

【請求項 36】

カンナビノイド受容体アゴニストの 1 日あたり用量が 0.1 ~ 500 mg の範囲内にある請求項 25 ~ 35 の何れか一項に記載の医薬。